【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成27年4月2日(2015.4.2)

【公開番号】特開2015-35001(P2015-35001A)
【公開日】平成27年2月19日(2015.2.19)
【年通号数】公開・登録公報2015-011
【出願番号】特願2014-224730(P2014-224730)
【国際特許分類】
*Ｇ０３Ｂ　5/00　(2006.01)*
*Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　5/00　Ｊ
Ｇ０３Ｂ　5/00　Ｋ
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成27年2月17日(2015.2.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
像振れを補正するために移動可能な光学系と、
装置の振れを検出し第１検出信号を出力する第１検出部と、
前記第１検出部から出力された前記第１検出信号を用いて前記光学系を目標位置に制御するための目標信号を生成する目標信号生成部と、
前記光学系の状態を検出し第２検出信号を出力する第２検出部と、
前記目標信号と前記第２検出信号とを用いて前記光学系の制御誤差の信号である制御誤差信号を生成する信号生成部と、
前記信号生成部から出力された前記制御誤差信号を用いて前記光学系の移動を制御する第１制御部と、
前記信号生成部から出力された前記制御誤差信号をカメラ本体に出力する出力部とを有するレンズ鏡筒。
【請求項２】
請求項１に記載されたレンズ鏡筒であって、
前記出力部が出力する前記制御誤差信号は、撮像部が画像を取得するフレームレートよりも速い周期の信号であるレンズ鏡筒。
【請求項３】
像振れを補正するために移動可能な光学系と、装置の振れを検出し第１検出信号を出力する第１検出部と、前記第１検出部から出力された前記第１検出信号を用いて前記光学系を目標位置に制御するための目標信号を生成する目標信号生成部と、前記光学系の状態を検出し第２検出信号を出力する第２検出部と、前記目標信号と前記第２検出信号とを用いて前記光学系の制御誤差の信号である制御誤差信号を生成する信号生成部と、前記信号生成部から出力された前記制御誤差信号を用いて前記光学系の移動を制御する第１制御部と、前記信号生成部から出力された前記制御誤差信号をカメラ本体に出力する出力部とを含むレンズ鏡筒から前記制御誤差信号を取得する取得部と、
前記制御誤差信号を用いて像振れを補正するための処理をする補正処理部とを有するカ

メラ本体。
【請求項４】
請求項３に記載されたカメラ本体であって、
撮像部のフレームレートの情報であるフレームレート情報を用いて、前記出力部が出力した前記制御誤差信号を間引くことにより
前記制御誤差信号よりも遅い周期の信号である間引き信号を生成する間引き信号生成部を有するカメラ本体。
【請求項５】
請求項４に記載されたカメラ本体であって、
前記補正処理部は、前記間引き信号生成部から出力された前記間引き信号を用いて前記撮像部で撮像された画像の一部を切り出すことにより像振れを補正するカメラ本体。
【請求項６】
請求項１又は請求項２に記載されたレンズ鏡筒を有することを特徴とする光学機器。
【請求項７】
請求項３から請求項５までの何れか１項に記載されたカメラ本体を有することを特徴とする光学機器。